

1. 発表申込から研究発表までのフロー

大会学術講演会における発表申込から研究発表にいたる主な留意事項を以下に示す。

1.1 論文内容

研究発表論文として応募できる内容は、建築仕上げに関する最近の研究成果、工事記録、統計資料、調査結果等をまとめたものとする。

なお、応募論文は未発表のものとするが、本会の学術研究事業で、その成果等を既に学会誌または報告書で発表したものの、ならびに他学会論文集等に発表したもので、特に建築の仕上げに関連の深いものはこの限りではない。

1.2 講演発表者

大会学術講演会における講演発表者は本会会員に限るが、共同発表者(連名者)は必ずしも会員である必要はない。

講演発表者は必ず大会学術講演会に出席し、講演発表をしなければならぬ。原則として、共同発表者の代理講演は認めない。

1.3 発表申込み

研究発表の応募は、本会所定の研究発表申込書を大会実行委員会へ提出することによって申込みとする。研究発表申込書の提出は、E-mail(申込書ファイルを添付して送信)あるいはファクシミリいずれかとする。

2021 年大会学術講演会(第 32 回研究発表会)における研究発表申込書の提出締切りは、「研究発表論文応募規程」に明記されているように、6月1日(火)17時必着とする。

提出された研究発表申込書により、大会実行委員会がその採否を決定し、不採択の場合は、その理由を付して本人に通知する。

1.4 発表論文の提出

研究発表申込みにより採択となった場合、発表論文を提出することとなるが、その場合、(i)電子投稿(Adobe Acrobat を用いて変換した PDF ファイルのインターネットによる投稿)とする。

発表論文の提出締切りは、7月6日(火)17時必着とする。

発表申込書および発表論文の提出に際しては、その提出期限を厳守する。

1.5 著者用データシート

講演発表者は、後述する「発表論文データシート」に研究発表論文の要旨を記載し、発表論文とともに提出しなければならない。提出したデータシートは、独立行政法人 科学技術振興機構が運営している科学技術情報発信・流通総合システムのデータベースである J-STAGE に登録する。

このデータベースは、下記のホームページからだれでも自由に閲覧することができる。

1.6 発表登録費

講演発表者には請求書ならびに郵便振替用紙を送付するので、所定の発表登録費を事前に納入する。なお、数題にわたって応募する場合も、発表登録費は1題ごとに納入することになる。なお、共同研究者の発表登録費は不要とする。また、納入された発表登録費は返還しない。

1.7 発表論文の採否

発表論文の採否は大会実行委員会が決定するが、次の条項に照らし、大会学術講演会の発表内容として不適当と認められたものは採択されない。また、内容によっては、一部修正をお願いすることがある。

- a. 同一または類似の研究発表が既に行われているもの。ただし、既発表の研究内容を前進させたものはこの限りではない。
- b. 内容が商業宣伝に偏したもの(商(製)品名の使用は不可とする。企業名あるいは固有名詞は避ける)。
- c. 応募規定・執筆要領に反するもの。
- d. 論文に記した説明が著しく不十分なもの。
- e. 論文の論旨が不明確なもの。

1.8 研究発表論文集

発表部門(カテゴリー)は提出された発表申込書をもとに分類し、大会実行委員会においてプログラムを編成する。

採択された発表論文は、「日本建築仕上学会 大会学術講演会 研究発表論文集」に収録し、大会開催前に全会員に無料配布する。

研究発表論文集に掲載された研究発表論文の著作権は著者が有し、本会は出版権を持つものとする。

1.9 大会における発表

研究発表は発表者各自がパソコン等の機器をネットワークに接続しオンライン(zoom ウェビナー使用)にて資料を投影し、口頭発表とする。

同じ題目で、5編以上の連報については、1セッションに(60分以内)にまとめて頂くことをお願いする場合があります。

2. 研究発表申込書の書き方

本会所定の「研究発表申込書」を、**図 1**に示す。

この申込書は、募集案内とともに本誌 3/4 月号に掲載され、さらに本会のホームページからダウンロードすることができる。

研究発表申込書の記入内容は、以下の通りとする。なお、記載する題目・発表者名・共同発表者等は、申込時点のものであり、「研究発表論文集」におけるこれらの項目は、最終的に提出された論文に倣うものとする。

FAX 03-3798-4922 E-mail = shiage@finex.jp

日本建築工上学会 2021年大会学術講演会
研究発表申込書

*発表登録費 正会員：3,000円/1題 準会員：2,000円/1題 提出日：2021年 月 日

題 目			
ふりがな	姓	名	会員番号
発表者名			
ふりがな			
所属先名			
部 署			
役 職			
連絡先	所属先または自宅のいずれかを記入して下さい		
所属先住所	〒 -		
	TEL	FAX	
自宅住所	(必須) E-mail		
	〒 -		
共同発表者	TEL		
	FAX		
氏名・所属	(書ききれない場合は別紙にご記入下さい)		
論文要旨	(300字程度にまとめてください。)		
<small>※ 発表希望カテゴリー (いずれかに○を) 1.コンクリート・モルタル・ALC 2.石・タイル・レンガ 3.塗料・仕上塗材 4.機能性材料 5.性能評価 6.環境 7.美観維持 8.補修・改修 9.調査・計画 10.エコマテリアル・リサイクル 11.防水(メンブレン、シーリング) 12.伝統建築 13.その他(具体的に) ※カテゴリーはプログラム編成の関係で変更になることがあります。</small>			
<small>発表状況 <input type="checkbox"/>1. 初めての発表 <input type="checkbox"/>2. 昨年も発表 <input type="checkbox"/>3. 1-昨年発表 <input type="checkbox"/>4. 3年以上前に発表 ※該当箇所には✓を入れて下さい。</small>			

図 1 研究発表申込書

2.1 題目

発表論文のタイトル(表題)は、内容を適切かつ具体的に表す。サブタイトル(副題)を記載できるのは、一連の研究発表の場合だけとする。連続した研究で副題をつける場合は、その○△△△とし、()、-、:等の記号は付けない。サブタイトルもタイトルと同様に内容を適切かつ具体的に表す。

2.2 発表者名

姓・名前を活字体で正確に記入するとともに、そのふりがなを記入する。また、会員番号は必ず記載すること。なお、申込み時に未入会の方は、会員番号欄に「申請中」と記載し、速やかに所定の入会申込書を提出する。

2.3 所属先名称・部署・役職

所属先名称・部署は、省略せずに正確に記入し、所属先名にふりがなを併せて記入する。

例：「東工大」とはせず、「東京工業大学」とする。

「建築仕上(株)」とはせず、「建築仕上株式会社」とする。

2.4 連絡先住所等

研究発表に関する連絡先として、勤務先および自宅の郵便番号、住所、電話・ファクシミリ番号・電子メールアドレスを必ず記入する。後日、発表等に関する情報・連絡事項等は全て電子メールにて送付するので、継続的に利用できる電子メールアドレスを必ず登録する(携帯電話のメールアドレスは受付ない)。

2.5 共同発表者氏名・所属

共同発表者の氏名および所属を記入する。なお、所属先は会社名および所属部署を記入する。

2.6 論文要旨

発表論文の要旨を、日本語で300字程度にまとめて記入する。

2.7 発表希望カテゴリー

発表を希望するカテゴリーを選択し、○で囲む。該当するカテゴリーがない場合は「その他」とし、具体的なカテゴリーを記入する。

3. 研究発表論文の書き方

研究発表論文は、電子投稿・紙面投稿ともに本執筆要領にしたがって執筆し、仕上がりは同じ体裁とする。図2~4に論文書式例を示す。

3.1 用紙設定

用紙サイズはA4判とし、横書き2段組の4ページとする。左右の段の間隔は10mmとし、余白は4ページとも、いずれも天地左右20mmとする。余白には、印刷・製本時に講演番号やページ番号を記すため、所定の余白は必ず確保する。

本文の体裁は、行間1.5mm、字間0.3mm程度を目安とし、文字の大きさは明朝体10~12ポイントを標準とする。文字の大きさ・行数・文字数は表1に示す通りである。

表 1 文字の大きさ・行数・文字数について

文字の大きさ (ポイント)	行数(行)	文字数	
		1段	1ページ
10	51	20	2040
11	48	19	1829
12	45	17	1530

天地左右とも余白として20mmを確保する(4ページとも)

1行目は空ける 天地左右とも余白として20mmを確保する(4ページとも)

2行目にタイトル

タイトル

ゴシック体 18pt

サブタイトル

ゴシック体 14pt

ゴシック体○発表者名*¹ 共同研究者名*¹

1. はじめに ゴシック体

本文は10ptまたは12ptの明朝体とする。

3. 試験概要 ゴシック体

2. 試験項目および使用材料 ゴシック体

表1 ○○○ ゴシック体

表2 ○○○ ゴシック体

本文と記載欄との間に罫線を引く。

英文のタイトル・サブタイトルは左側に寄せて、発表者名および共同研究者名は右側に寄せて10ptで記載する。氏名はローマ字で姓・名の順に記入し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。

[ゴシック体] Kari*¹, IHARA Heki NAAI *¹

図2 論文書式例 1ページ目

天地左右とも余白として 20mm を確保する(4 ページとも)

4. 試験方法 ゴシック体

5. 試験結果 ゴシック体

(1) ○○○○ ゴシック体

表 3 ○○○ ゴシック体

表 4 ○○○ ゴシック体

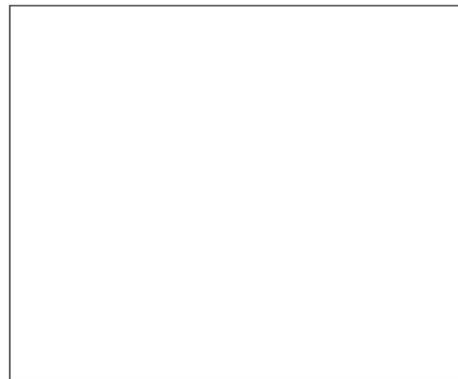


図 1 ○○○○ ゴシック体



写真 1 ○○○○ ゴシック体

天地左右とも余白として 20mm を確保する (4 ページとも)



図 2 ○○○○ ゴシック体

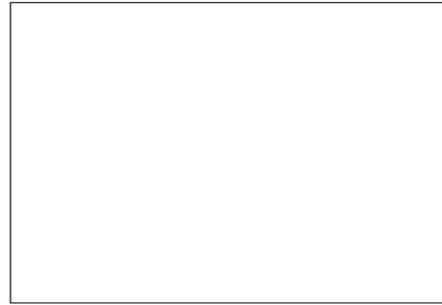


図 3 ○○○ ゴシック体

(2) ○○○○ ゴシック体



図 4 ○○○○ ゴシック体

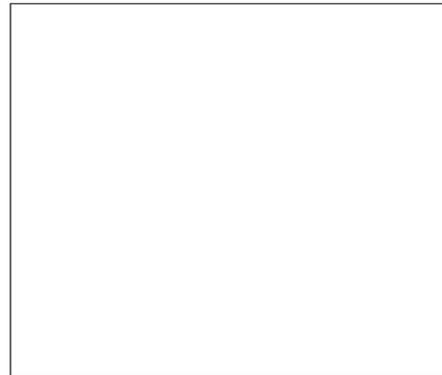


図 5 ○○○○ ゴシック体

天地左右とも余白として 20mm を確保する (4 ページとも)

(3) ○○○○○○ ゴシック体

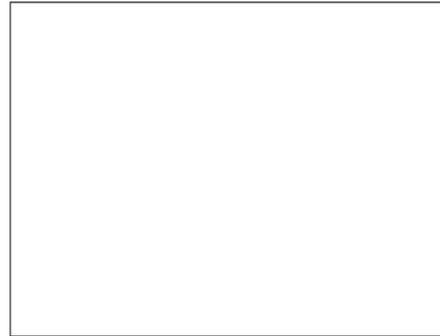


図 8 ○○○○ ゴシック体

6. まとめ ゴシック体



図 6 ○○○○○○ ゴシック体

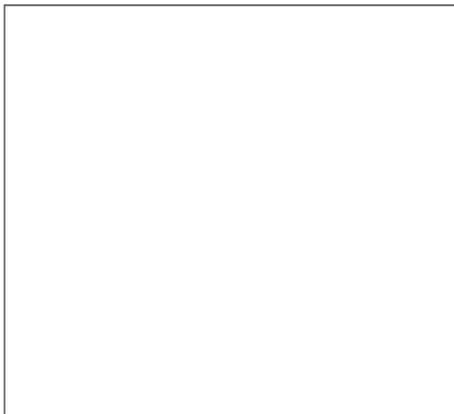


図 7 ○○○○○○ ゴシック体

[参考文献] ゴシック体

- 1) 井上明生：林業77年度 気中濃度ガイドライン対策，木材工業、Vol. 52, No1, pp9-14 ゴシック体

線を引く

本文と記載欄との間に罫線を引く。

発表者・共同研究者の所属を日本語と英語で記載する。日本語は左側に、英語は右側に寄せて 10pt で書く。

*1 ○○○○ (株) 技術センター

ゴシック体

Technology Center, Shiage Corporation

ゴシック体

図 5 論文書式例 4 ページ目

3.2 本文の記載方法

1) タイトル (1 ページ目 2 行目)

1 ページ目の 1 行目は空け、タイトルは 2 行目に記す。タイトルは原則としてゴシック体で 18 ポイントとし、センタリングする。なお、タイトルは論文の内容を適切かつ具体的に表現し、できる限り 1 行に納める。

サブタイトル (副題) は、連続した研究の場合のみ記し、ゴシック体 14 ポイントとする。() やーなどの記号は付けない。タイトルの例を以下に示す。

研究発表論文の書き方 その 2 記載方法

前年度以前の論文の続報としてサブタイトルを記載した場合は、前報を掲載する日本建築工学会 研究発表論文集を 4 ページ目の参考文献欄に記載する。

2) 講演発表者名

講演発表者名はゴシック体とし、上段右側に寄せて記載する。連名の場合は講演発表者を筆頭にして、氏名の前に○印を付ける。講演発表者および共同研究者の所属を示す記号は *1、*2・・・とし、氏名の右肩に上付きとする。所属が同じ場合は、同一番号を付ける。講演発表者名の例を示す。

例： 仕上太郎 *1 仕上次郎 *2
※ 文字はゴシック体

3) 章 題

章題は、ゴシック体とする。

例： 1. はじめに 2. 試験方法

4) 英文タイトル (1 ページ目 下段)

英文タイトル (連続した研究ではサブタイトルも含む) および英文氏名は、ゴシック体 10 ポイント半角で 1 ページ目下段に記載し、本文との間には線を引く。英文タイトル・サブタイトルは、原則として各々 1 行とする。

英文タイトル・サブタイトルは左側に、英文氏名は右側に寄せて記す。英文氏名はローマ字で姓・名の順に記し、姓はすべて大文字とし、名は頭文字のみ大文字とする。和文氏名と同様に、発表講演者名・共同研究者名の右肩に上付きで所属を示す記号を付ける。全員の氏名が書ききれない場合は「SIAGE Taro*1 et.al」のように記しても良い。

Study on how to write treatise
part2 Method of mention
SIAGE Taro*1, SIAGE Jiro*2

5) 講演発表者・共同研究者の所属 (4 ページ目 下段)

講演発表者・共同研究者の所属は、10 ポイントで日本語と英語で 4 ページ目下段に記す。日本語は左側に、英語は半角で右側に寄せて記載し、本文との間には線を引く。

文字は、ゴシック体とする。

* 1 ケンチク株式会社 KENTIKU Co.ltd
* 2 株式会社シアゲ SIAGE Co.ltd
※ 文字はゴシック体 ※ ゴシック体半角

6) その他

研究発表論文は、論文集を印刷する際に全編通してページ付けを行うため、提出原稿の本文にページ番号は付けない。ただし、郵送で紙面原稿を提出する場合は、裏面に鉛筆でページを記入する。

3.3 図表および写真

図表および写真は、適当な部分にレイアウトする。とくに図表内の文字が過小にならないように大きさに注意する。図表をコピーして貼り付ける場合は本文と同等の濃さのものを使用し、縮小して貼り付ける場合は文字や凡例などの大きさに注意する。写真は、モノクロームで鮮明な画像を原稿に直接書き込むか、印画紙に原稿を貼り付ける。

また、提出原稿はモノクロのオフセット印刷となる。このため、カラー写真や図でカラーを使用する場合は、あらかじめモノクロコピーで、その画像、線種・凡例などが識別可能か鮮明度を確認する。

3.4 記載不備の例

近年の大会に提出された研究発表論文の中で比較的多く見受けられる記載の不備は、「英文発表者名の記載不備」、「表・図・写真の表題不備」、「余白 (天地左右 20 mm) の不備」、「表・図・写真の不鮮明」である。執筆の際は留意してほしい。表 2 および図 6 に 2018 年の大会の記載不備の状況を示す。

4. 電子投稿上の注意

電子投稿による研究発表原稿は、Adobe Reader で表示および印刷可能な PDF ファイルのみを受け付ける。なお、原稿作成に使用するアプリケーションの制限はない。OS は WindowsXP 以上または Macintosh 10.5 以上を推奨とする。

原稿の提出は原則としてインターネット経由に限り、その提出先メールアドレスは shiage@finex.jp とする。

提出原稿の PDF ファイルサイズは 1MB 以下とするが、1MB 以上のファイルはサーバーが受け付けないため、できる限り 600KB 以下となるようにする。ファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしない。

原稿内に使用するフォントは表 3 に限定する。

表2 研究発表論文における記載不備 (2020年)

不備項目	主な不備事項	件数
A 所属名の記載不備 総件数：23	<ul style="list-style-type: none"> ・記載がない、足りない、おかしい。 ・英文所属が右寄せになっていない。 ・英文所属に番号がある。 ・会社名がない。 ・英文所属がゴシック体になっていない。 ・和文所属がゴシック体になっていない。 ・英文所属のフォントが違う。 ・英文所属の記載箇所が誤っている。 	1 8 4 1 3 4 1 1
B 表・図・写真の不鮮明 総件数：27	<ul style="list-style-type: none"> ・図表番号表記が違う、ない。 ・図、表が判りづらい、不明瞭。 ・余計な図、表、線がある。 ・線の太さが違う。 ・図表番号があていない。 ・図の説明文がない。 ・線、文字が切れている。 ・図、表がない。 ・図表文字があていない。 ・図が線をまたいでいる。 	2 12 3 1 2 2 1 1 2 1
C 章・節番号の不備 総件数：16	<ul style="list-style-type: none"> ・タイトルの位置がずれている。 ・余計な・がついている。 ・節の番号表記がおかしい。 ・タイトル、番号がゴシック体になっていない、書体が違う。 ・図表文字が足りない。 	1 1 4 8 2
D 英文タイトルの不備 総件数：9	<ul style="list-style-type: none"> ・英文タイトルがない、表記ミスがある。 ・左寄せになっていない。 ・英文タイトルの記載箇所が誤っている。 ・ゴシック体・半角になっていない。 ・文頭に定冠詞「A」「The」、文末に「.」が付けられている。 	0 1 1 7 0
E 所属番号の記載不備 総件数：1	<ul style="list-style-type: none"> ・様式があていない。 ・番号の記載がない。 ・不要な字が入っている。 ・*が誤っている。 ・*1がゴシック体になっていない。 ・1ページ目と、4ページ目の記号・番号が違う。 	1 0 0 0 0 0
F 表・図・写真の表題不備 総件数：22	<ul style="list-style-type: none"> ・不要な「」や「-」、改行がある。 ・タイトルがゴシック体になっていない。 ・表のタイトルと文章があていない。 ・内容に不備がある。 ・タイトルの位置が誤っている。 ・表現がおかしい。 ・表題・図題がセンタリングされていない。 ・数字を全角から半角に直す。 	2 10 1 1 2 1 5 0
G 英文発表者名の記載不備 総件数：21	<ul style="list-style-type: none"> ・右寄せになっていない。 ・番号がない。 ・表記がおかしい。 ・姓名が逆になっている。 ・姓が大文字になっていない。 ・記載がない。 ・数字が上付きになっていない。 ・位置がおかしい。 ・ゴシック体になっていない。 ・文字の一部が消えている。 	5 1 0 3 7 0 0 1 4 0
H 和文タイトル・発表者 総件数：11	<ul style="list-style-type: none"> ・フォントサイズがあていない。 ・発表者が一行になっていない。 ・余分な「」 「,」がついている。 ・タイトルがセンタリングされていない。 ・タイトルが一行になっていない。 ・タイトルがゴシック体になっていない。 ・発表者が右寄せになっていない。 ・発表者名がゴシック体になっていない。 ・発表者に○印が付いていない、位置がおかしい。 	2 0 0 2 4 0 1 2 0
I 余白の不備 総件数：11	<ul style="list-style-type: none"> ・天地左右の余白が20mm採られていない。 ・タイトル上に1行空きがない。 	11 0
J サブタイトルの不備 総件数：2	<ul style="list-style-type: none"> ・余計なサブタイトルがある。 ・センタリングされていない。 ・副題の線、()をとる。 	1 1 0
K その他 総件数：36	<ul style="list-style-type: none"> ・上記以外の指摘・修正。 	36
総件数： 179		

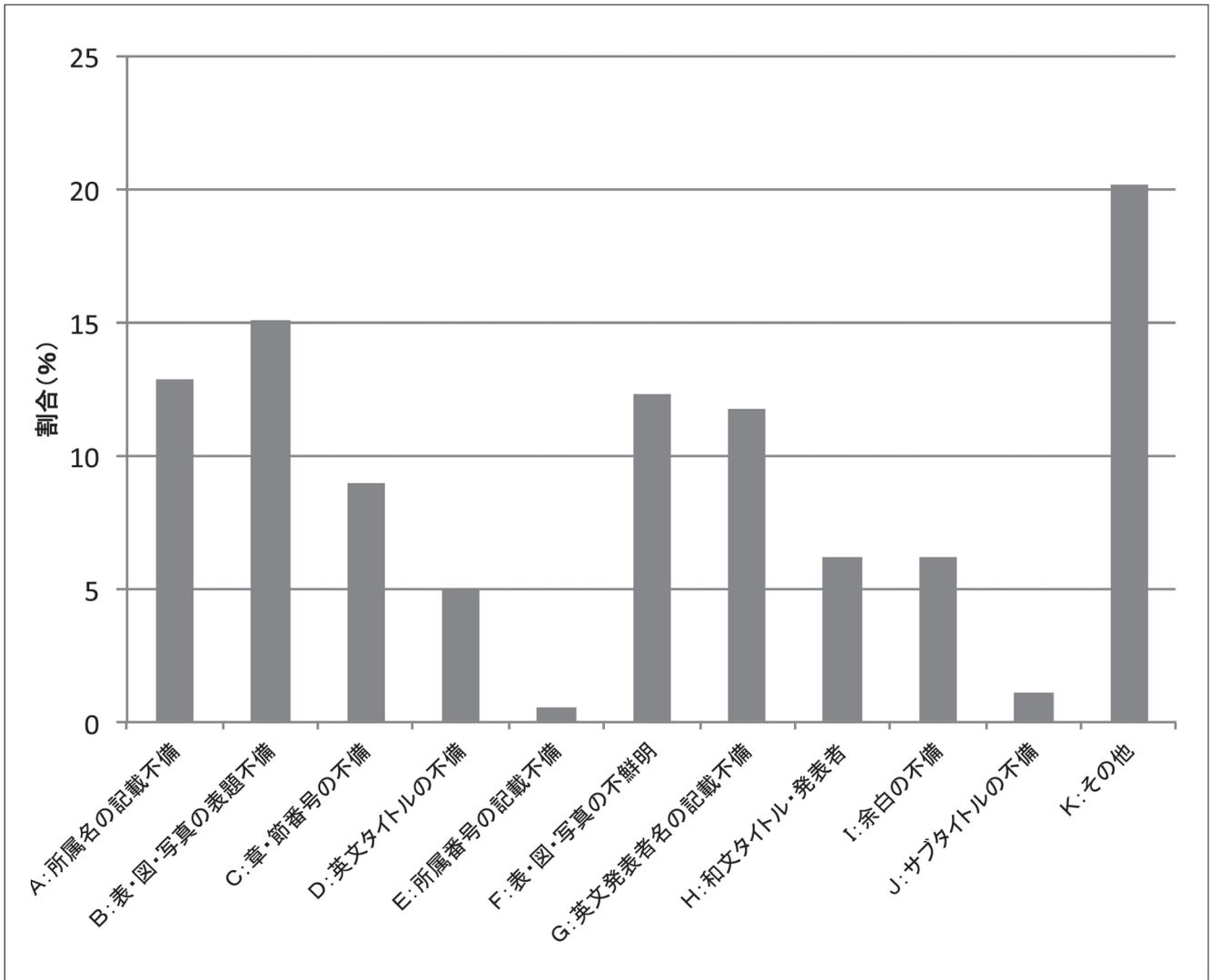


図6 研究発表論文における記載不備 (2020年)

表3 文字の大きさ・行数・文字数について

原稿を作成する OS	Windows	Macintosh
日本語 フォント	MS 明朝 また MS ゴシック	(OSX 以降) MS 明朝 また MS ゴシック
		(OS9.2 以前のバージョン) 細明朝 または 中ゴシック 平成明朝 または 平成角ゴシック
英字 フォント	Times, Times New Roman, Helvetica, Arial, Symbol	

コンピュータの機種により文字化けが発生する可能性があるため、漢字コードは第二水準以内の文字を使用する。

色使いの制限は特にないが、モノクロプリンタで出力したものを印刷原稿として利用するため、色やその組み合わせによって明確に出ない場合があるので、モノクロプリンタで出力して確認する。

規定以外のヘッダーやフッター、ノンブル(ページ番号)は入れない。

写真(画像)データは出力画質が悪いことがあるので、ファイル制限内で PDF 化する際のジョブオプションの値を高くして作成する。

作成した PDF ファイルは、投稿前に一度プリントアウトし、投稿者の意図通りに印刷されることを確認する。特に天地左右の余白が確保されているかを確認する。

5. 発表論文データシートの書き方

前述のように発表論文データシートは、(独) 科学技術振興機構のデータベースである J-STAGE に、「日本建築工学会大会学術講演会研究発表論文集」として登録するので、発表論文提出と同時に学会事務局宛に、必ず提出する。

本会所定の「発表論文データシート」を、図7に示す。このデータシートは発表登録者が本会のホームページからダウンロードするものとする。

データシートは迅速なアップデートを図るため、原則としてインターネット経由にて提出することとしそのメールアドレスは、shiage@finex.jp とする。

記入に際しては、「発表論文データシート」の記入要領、記入例に従って行い、特に以下の点に注意する。

日本建築士学会 大会学術講演会
発表論文 データシート (簡略版)

講演番号

A. 論文データ

和文タイトル(全角、半角カタカナは使用不可)

和文サブタイトル(全角、半角カタカナは使用不可)

英文タイトル(半角、1語の1文字目のみ大文字)

英文サブタイトル(半角、1語の1文字目のみ大文字)

和文抄録(全角、半角カタカナは使用不可、途中改行不可)

英文抄録(半角、途中改行不可)

和文キーワード(6個以内、全角、半角カタカナは使用不可)

英文キーワード(6個以内、半角、すべて小文字)

著者人数(半角) 所属数(著者の所属する会社等の数を半角入力) キーワード数(半角)

B. 著者データ(以下の項目を著者の所属数分入力)

和文発表者名(姓)	和文発表者名(姓)	和文発表者名(姓)	和文発表者名(姓)
和文発表者名(名)	和文発表者名(名)	和文発表者名(名)	和文発表者名(名)
発表者名ふりがな(姓)	発表者名ふりがな(姓)	発表者名ふりがな(姓)	発表者名ふりがな(姓)
発表者名ふりがな(名)	発表者名ふりがな(名)	発表者名ふりがな(名)	発表者名ふりがな(名)
英文発表者名(姓)	英文発表者名(姓)	英文発表者名(姓)	英文発表者名(姓)
英文発表者名(名)	英文発表者名(名)	英文発表者名(名)	英文発表者名(名)
発表者所属番号	発表者所属番号	発表者所属番号	発表者所属番号
発表区分	発表区分	発表区分	発表区分

C. 所属データ(以下の項目を著者の所属数分入力)

所属番号	1	所属番号	2
和文所属名(全角、半角カタカナは使用不可)	<input type="text"/>	和文所属名(全角、半角カタカナは使用不可)	<input type="text"/>
英文所属名(半角、1語の1文字目のみ大文字)	<input type="text"/>	英文所属名(半角、1語の1文字目のみ大文字)	<input type="text"/>

図7 発表論文データシート

1. 太枠内のみ記入する
 2. 使用する数字はすべて半角とする。
- <A. 論文データ>
3. 和文タイトル
和文のタイトルおよびサブタイトルは全角とし、**半角カタカナは使用しない。**
 4. 英文タイトル
英文のタイトルは**半角**とし、1語の1文字目のみ全て大文字とする。
サブタイトルも**半角**とするが、大文字は1文の1文字目のみとする。
 5. 和文抄録
和文抄録は全角とし、半角カタカナは使用しない。また、途中改行はしない。抄録は300字前後で記入する。
 6. 英文抄録
英文抄録は「。」(ピリオド)、「,」(カンマ)、「:」(コロン)、

- 「;」(セミコロン)等も含めてすべて半角とし、1文の1文字目のみ大文字とする。また、途中改行はしない。データベースの国際的な流通促進のために、100語程度で記入する。
7. キーワード
キーワード数は半角数字で入力する。
キーワードは6個以内とし、それぞれ和文、英文で入力する。
各キーワードの字数、語数は特に制限はない。
 8. 和文キーワードは全角とし、半角カタカナは使用しない。
 9. 英文キーワードは半角とし、すべて小文字とする。
 10. 著者人数
著者人数は半角数字で入力する。
 11. 所属数
所属数は著者の所属する会社等の数を半角で入力する。
 12. キーワード数
キーワード数は半角数字で入力する。

- <B. 著者データ>
13. 和文著者名およびふりがな
和文著者名は全角とし、姓・名をそれぞれ記入する。著者名ふりがなは全角のひらがなとし、姓・名をそれぞれ記入する。
 14. 英文著者名
英文著者名は半角とし、1文字目のみ大文字とし、姓・名をそれぞれ記入する。
 15. 所属番号
所属番号は著者の所属する会社等の所属番号(C. 所属データ)を半角数字で入力する。
 16. 発表区分
発表区分は、発表者を「0」、非発表者を「1」として半角で入力する。
- <C. 所属データ>
17. 和文および英文所属名
和文所属名は全角とし、半角カタカナは使用しない。また、会社名、機関名は省略しない。所属が長い場合は、わかる範囲で部課(学科)名等を省略してもよい。
英文所属名は半角とし、**1語の1文字目はすべて大文字**とする。
 18. 所属番号
所属番号は、著者所属番号に対応した数値を半角で入力する。